

第 83 回機器・配管系検討会 議事録

1. 日 時 2022 年 10 月 05 日 (水) 10 : 00~11:50

2. 場 所 一般社団法人 日本電気協会 4 階 C 会議室 (Web 会議併用)

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

出席委員 : 中村主査(東京都市大学), 藤田(東京電機大学), 野元幹事(関西電力),
行徳副幹事(日立 GE ニュークリア・エンジニア), 上屋(日本原子力発電),
南保(北海道電力), 秋葉(東北電力), 辰尾(北陸電力),
小江(原子力エンジニアリング), 村上(四国電力), 池田(九州電力),
大口(電源開発), 工藤(富士電機), 小関(原子燃料工業), 齋藤(電力中央研究所),
宮崎(日本原子力研究開発機構) (計 16 名)

代理出席者 : 高木(東京電力 HD, 波木井委員代理), 久保田(中部電力, 尾西委員代理),
川幡(東芝エネルギーシステムズ, 樋口委員代理), 松岡(三菱重工業, 吉賀委員代理)
(計 4 名)

常時参加者 : なし (計 0 名)

オブザーバ : なし (計 0 名)

説明者 : なし (計 0 名)

欠席委員 : 渡邊副主査(埼玉大学), 古屋副主査(東京電機大学), 田村(中国電力)
(計 2 名)

事務局 : 米津, 田邊(日本電気協会) (計 2 名)

4. 配付資料

- 資料 No.83-1 第 82 回機器・配管系検討会 議事録 (案)
- 資料 No.83-2 原子力規格委員会耐震設計分科会 機器・配管系検討会委員名簿
- 資料 No.83-3-1 2023 年度 各分野の規格策定活動 (案)
- 資料 No.83-3-2 原子力規格委員会 耐震設計分科会 2023 年度活動計画 (案)
- 資料 No.83-4 JEAG4601-2015[2016 年追補版] (SA-JEAG) 今後の扱いに関する議論用メモ
- 資料 No.83-5 JEAC4601-2021 校正について (その 2)

5. 議事

事務局から, 本検討会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後, 議事が進められた。

(1) 資料の確認, 代理出席者・オブザーバの承認等

事務局から配付資料の確認の後, 代理出席者 4 名の紹介があり, 分科会規約第 13 条 (検討会) 第 7 項部基づき主査の承認を得た。確認時点で出席者は代理出席者を含めて 20 名で, 検討会決議条件である分科会規約第 13 条 (検討会) 第 15 項に基づき, 委員総数 23 名に対し決議に必要な「委員総数の 3 分の 2 以上の出席(16 名以上)」を満たしていることを確認した。

(2) 主査選任について

事務局より、主査選任について説明し、野元幹事より、中村主査に引き続き主査をお願いしたいとの推薦があった。分科会規約第13条（検討会）第15項に基づき、Webの挙手機能により決議の結果、5分の4以上の賛成で承認された。主査選任の挨拶の後、分科会規約第13条（検討会）第2項に基づき、主査より副主査に渡邊委員及び古屋委員、幹事に野元委員、副幹事に行徳委員の指名を行った。

(3) 前回議事録（案）の確認

事務局から資料 No.83-1 に基づき、前回議事録（案）の紹介があり、一部修正の後、正式議事録にすることについて、分科会規約第13条（検討会）第15項に基づき、Webの挙手機能にて決議の結果、承認された。

(4) 新委員の紹介

事務局から資料 No.83-2 に基づき、下記委員の変更があるとの紹介があった。新委員候補については分科会規約第13条（検討会）第4項に基づき、次回耐震設計分科会で承認の予定である。

- ・ 退任予定 尾西 委員（中部電力）
- ・ 退任予定 吉賀 委員（MHI NS エンジニアリング）
- ・ 新委員候補 久保田 氏（同左）
- ・ 新委員候補 松岡 氏（三菱重工業）

(5) 2022 年度活動実績（中間）及び 2023 年度活動計画（案）について

野元幹事及び行徳副幹事から資料 No.83-3-1 及び資料 No.83-3-2 に基づき、2022 年度活動実績（中間）及び 2023 年度活動計画（案）について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 資料 No.83-3-1 の 13 頁で、地震に遭遇した原子力発電所の損傷事例の調査であるが、来年度に最終報告予定であるということで、今までの活動を取りまとめるという趣旨だと思うが、これで終了と読めてしまう。今後も地震は起こり得るし、原子力発電所の損傷も国内外を含めて起こり得るので、このような活動は継続していくべきであるため、この記載をそのように修正したら如何か。
- 最終と言うとこれ以上の活動がないと読めてしまうという指摘であると思うので、この後も継続して活動する表現にしたいと思う。2023 年度に報告書を取りまとめるという表現としたい。
- ・ これについてはワーキングで活動していたのか。
- ワーキングで活動をしている。
- ・ ワーキングは終了することになるのか。それとも活動中止ということになるのか。
- 決められたものは何もないが、これを取りまとめることがワーキングのミッションであり、取りまとめた時点で、一旦終了すると思うが、決まってない。今後のメンテナンスをどうするかというのは、今後の議論である。

- ・ そのあたりは総括検討会の範疇になるのか。
- その通りで、総括検討会にて方向性を議論し、耐震設計分科会に紹介することになる。
- ・ 活動実績及び活動計画については最終報告に向けて必要に応じて修正することになる。
- ・ ワーキングの今後の扱いや、新たな損傷事例の知見が得られた場合の対応を総括検討会の方でもまとめる時に議論頂きたいと、機器・配管系検討会から意見が出たということ伝えること。
- 拝承。
- ・ この件については最終報告が出たら、各検討会、分科会に報告するのか。どんな活動をしてどのような結果が出たかという概要紹介はお願いできるのか。
- 元々この活動が発足した時に、機器・配管系検討会には関連が深いので報告をしていた。そのため、機器・配管系検討会には報告することになると思っている。
- ・ 体裁だけの話であるが、資料 No.83-3-2 の 23 頁の所で 2022 年度の実施の所で 2023 年度の活動計画に入っているが、これは 2022 年度実施に記載した方がすっきりすると思う。
- 本日の議論を踏まえて活動実績に移動する。

(6) JEAG4601-2015[2016 追補版] (SA-JEAG) の今後の取扱いについて (審議)

野元幹事より、資料 No.83-4 に基づき、JEAG4601-2015[2016 追補版] (SA-JEAG) の今後の取扱いについて説明があった。

主な意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 制定の時にどのような議論がされて今の形になったのか本日の説明で理解できたと思う。今後の方針案、今回の改定については案 3 で進めてはどうかということでご提案いただいたということでよいか。
- その通りである。
- ・ 幹事の提案の案 3 で良いと考えるが、国内外の規格も並行して進めて頂きたい。
- ・ 前回の制定した時の経緯を出してもらい、shall と should の区分を明確にしてから JEAC4601 への統合に向けてというスタンスとしては明確になったのではないかと。案 3 で進めて、その後どのようにして JEAC4601 に取り込んでいくかについて検討していくことでよいか。
- ・ 案 3 ということについては賛成である。資料 No.83-4 の(3)今後の進め方の中長期検討という所は、頭の中でイメージを膨らませながら進めると良いと考える。最近では次世代の炉の話が多く出てくるが、新たな設計コンセプトが色々出てくるので念頭に置くとよい。安全重要度分類が規程及び指針で出てきたので、中長期的にはそちらとの相互関係の検討も課題ではないか。
- ・ 他の検討会・分科会の新たな検討も踏まえ、色々連携をしながら、中長期の対応を進めていきたいと考える。前回の議論の際に別冊のままだと将来規程にするという約束に対して、方針変更を示さなくてはいけないのではないかとというコメントがあったが、それに関しては本日の説明の通り、次回改定については指針にするが、将来的には規程にするということよいか。

- その認識である。
 - ・ もし上部委員会等で指摘があった時には、将来的に規程を目指す、今回については、今後の検討もあるため、指針を維持するということで説明してもらいたい。資料 No.83-2 に戻るが、資料の 4 頁目の次回改定に向けて取扱い方針について検討を進めるということについては、現状はこのままで宜しいか。
 - 現状次回総括検討会にはこの形で提出し、最終版までには再度議論し見直しをかけることでよいかと思う。
 - ・ 資料 No.83-4 の 2. c.) 深層防護の考え方の整理についても、議論を始めるという位置付けにしてはどうか。
 - 深層防護については総括検討会での議論としてすでに始まっているというステータスである。
- 以上の議論の後、今回の 2022 年度活動実績及び 2023 年度活動計画の中間報告について総括検討会に報告することについて、分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づいて、決議を行い、Web の挙手機能により承認された。

(7) JEAC4601-2021 校正結果について

行徳副幹事より、資料 No.83-5 に基づき、JEAC4601-2021 校正結果について説明があった。

主な説明は下記のとおり。

- ・ 今回の修正について、編集上の修正であることが確認された。現在、第 2 校に対する修正を実施し、出版準備を進めている状況である。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 特になし。

(8) その他

次回検討会については、事務局が調整後に各委員に連絡する。

以 上